

2018年1月22日

おかげさまで京急線羽田空港国内線ターミナル駅開業20周年！ 沖縄「ゆいレール」に「京急ラッピング車両」が登場

**2月8日出発式を実施！
ゆいレールの現役運転士とその指導者である京急電鉄の元運転士が感動の再会！**

京浜急行電鉄株式会社（本社：東京都港区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）では，2018年2月8日（木）から沖縄の「ゆいレール」車両に，京急電鉄の車両をイメージした，全面ラッピング車両の運行を開始いたします。

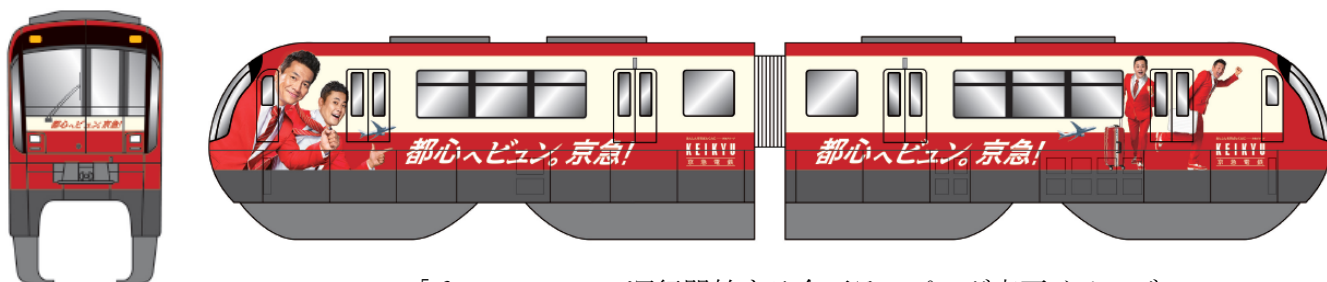
京急電鉄は，2018年11月18日（日）で開業20周年を迎える羽田空港国内線ターミナル駅から，都心や横浜方面へのアクセスを担っており，1998年の羽田空港駅（当時名称）開業以来，航空旅客数の増加に加え，速達性や利便性向上により，年々利用者が増加しています。2016年度の羽田空港国内線ターミナル駅利用者数は1日平均87,102人（前年比4.4%増）を記録しております。

このたび，羽田空港国内線ターミナル駅開業20周年を記念し，那覇空港のアクセス路線である「ゆいレール」にて，京急電鉄の看板車両である「2100形」のカラーリングを採用した，全面ラッピング車両の運行を開始いたします。

また，2月8日（木）の運行開始日に，「ゆいレール」那覇空港駅にて，出発式を実施いたします。出発式では，ラッピング車両のお披露目をするほか，2003年8月の「ゆいレール」開業前に，京急電鉄の動力車操縦者養成所で運転士教習を受けた「ゆいレール」の運転士と，教習期間中の指導者を務めた京急電鉄の元運転士が再会し，ラッピング車両運行開始を記念して，花束の贈呈などを実施いたします。

1月22日（月）から開催している「京急×沖縄フェア」とともに，首都圏と沖縄の架け橋となり，京急グループ全体で沖縄を盛り上げてまいります。

京急電鉄では，今後も全国各地のモノレールや路面電車でラッピング車両を運行する予定です。詳細は別紙のとおりです。



「ゆいレール」で運行開始する全面ラッピング車両イメージ

沖縄モノレール 「京急ラッピング車両」 運行開始について

1. 運行開始日

2018年2月8日（木）

※運行期間は約1年間を予定しております。

2. 対象車両

1000形 1編成2両



モノレール対象車両 1000形

3. 運行区間

那覇空港駅～首里駅間（ゆいレール全区間）

4. モデル車両

京急 2100形



ラッピングのモデル車両京急 2100形

5. 出発式について

(1) 概要

- ・沖縄都市モノレールおよび京急電鉄 代表者挨拶
- ・師弟再会および花束贈呈
（教習時指導者を務めた京急電鉄元運転士と
ゆいレール運転士が再会および花束贈呈）
- ・京急電鉄元運転士とゆいレール運転士による、挨拶および教習時の思い出紹介
- ・テープカット等

(2) 日時

2018年2月8日（木）11時～

(3) 場所

那覇空港駅 2番線ホーム

(4) 出席者

沖縄都市モノレール株式会社

常務取締役 川畑 雅一（かわばた まさいち）
運輸課乗務区運転士主任 新崎 康人（あらさき やすと）

京浜急行電鉄株式会社

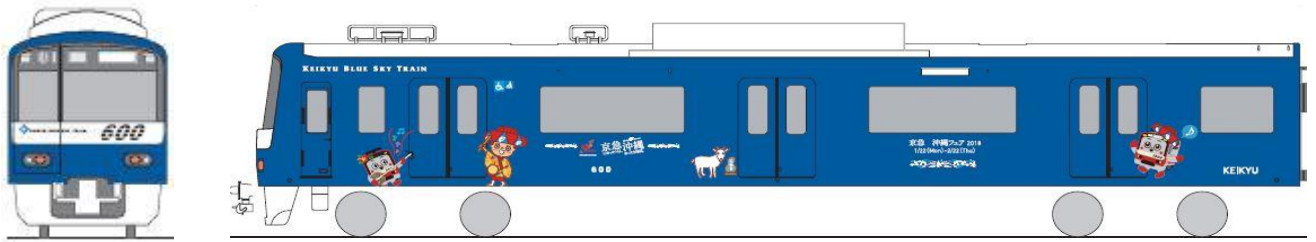
常務取締役 鉄道本部長 道平 隆（みちひら たかし）
蒲田運転区運転主任 加瀬 晋一（かせ しんいち）

以 上

【参 考】

■「京急×沖縄フェア 2018」

2018年1月22日（月）から2月28日（水）まで「京急×沖縄フェア 2018」を開催いたしております。フェア期間中は京急電鉄 600 形の 8 両編成を特別塗装した「KEIKYU BLUE SKY TRAIN」にて沖縄県の見どころの紹介ビジュアルで飾ったイベント列車「けいきゅん×マハエ号」を運行するなど京急グループ全体で様々な企画を行ってまいります。



「けいきゅん×マハエ号」イメージ

■各地で展開する「京急ラッピング車両」

京急電鉄では、羽田空港国内線ターミナル駅 20 年間のご利用に感謝の気持ちを込めて、今後も全国各地でのラッピング車両の運行をはじめ、さまざまな企画を実施してまいります。

現在実施しているラッピング車両

大阪高速鉄道 2017 年 10 月～



伊丹空港に乗り入れている大阪モノレール「京急線ラッピング車両」